

# 平成 2 5 年 度 事 業 報 告 書

(平成 2 5 年 4 月 1 日 から平成 2 6 年 3 月 3 1 日)

## 1 会務の状況

### ◇ 理事会・評議員会の開催状況

#### (1) 第 1 回理事会

- と き 平成 2 5 年 5 月 2 9 日
- と ころ かでる 2・7 9 階 9 4 0 会議室
- 理事会の内容
  - ・平成 2 4 年度事業報告
  - ・平成 2 4 年度収支決算報告及び監査報告
  - ・人事案件 ① 理事及び評議員の補充選任 (報告)

#### (2) 第 1 回評議員会

- と き 平成 2 5 年 6 月 1 1 日
- と ころ かでる 2・7 9 階 9 4 0 会議室
- 評議員会の内容
  - ・平成 2 4 年度事業報告
  - ・平成 2 4 年度収支決算報告及び監査報告
  - ・人事案件 ① 理事の補充選任
  - ・人事案件 ① 評議員の補充選任

#### (3) 第 2 回理事会

- と き 平成 2 6 年 3 月 1 1 日
- と ころ かでる 2・7 9 階 9 2 0 会議室
- 理事会の内容
  - ・平成 2 6 年度事業計画
  - ・平成 2 6 年度収支予算
  - ・就業規則の一部改正

#### (4) 第 2 回評議員会

- と き 平成 2 6 年 3 月 2 7 日
- と ころ かでる 2・7 9 階 9 2 0 会議室
- 評議員会の内容
  - ・平成 2 6 年度事業計画
  - ・平成 2 6 年度収支予算
  - ・就業規則の一部改正

#### (5) 会計業務等監査の実施

- と き 平成 2 6 年 5 月 1 日
- と ころ かでる 2・7 9 階 団体会議室
- 内 容 平成 2 5 年度財産の管理状況及び公益目的事業会計・その他事業会計・法人会計に係る業務の執行状況の監査

## 2 事業の実施状況

### (1) 生きがづくり生涯学習促進事業

国際化、高齢化、情報化等社会の変化に対応し、生涯にわたって生きがいのある人生を送るために「生きることは学ぶこと」の視点から、道民に学習の機会を提供するため、全道7会場で講演会やバズセッション等を開催した。

市町村名	開催日	テーマ及び講師	参加数
東川町	8/30	郷土芸能「越中踊り」保存・伝承活動 富山県魚津「せりこみ蝶六」保存会理事 先名 進	100
雄武町	9/25	これからを楽しく健康に暮らす方法 北翔大学北方圏生涯学習スポーツ研究センター共同研究員 本田 理紗	251
陸別町	10/4	～人生を共に豊かに過ごすために～ PPK研究所所長 佐藤 光男 第53次南極地域観測隊員 空井 猛壽	123
沼田町	11/11	地域コミュニティの再生と生きがいの創出 地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究主幹 松村 博文	64
乙部町	11/20	生きがづくりと心身の健康について考える 檜山教育局義務教育指導監 白川 清久 PPK研究所所長 佐藤 光男	30
羽幌町	11/21	人生を共に豊かに過ごすために 健康運動指導士 工藤 貴彦	51
新ひだか町	1/23	人生を共に豊かに過ごすために 札幌交響楽団コンサートマスター 大平まゆみ	79

### (2) 広報誌発行事業

会員及び生涯学習に関係する機関・団体等に対し、協会の主催事業や関係機関・団体の活動状況など生涯学習に関する情報を提供した。

広報誌名 「ほっかいどう生涯学習」

発行回数 4回 (No. 97～100号)

### (3) 「ほっかいどう学」かでの講座事業

「ほっかいどう学」の推進を図るため、かでの講座を開設し、道民への学習機会提供の拡充を図った。

講座回数 11回 (うち特別講演1回)

開催期日 5月16日 (第1回)～2月7日 (第10回)

会場 かでの2・7

受講者数 1,000人

開催日	テーマ及び講師	受講者数
5/16	気候多様性から見た北海道の魅力 フリーキャスター・気象予報士 菅井 貴子	90

6/17	江戸期と現代との北海道の海岸景観比較 札幌市立大学教授 吉田 恵介	9 8
7/ 6	新聞・テレビの裏側 毎日新聞論説委員 与良 正男	9 0
8/ 5	落語を楽しもう 落語家 桂 枝光	9 6
9/ 9	北海道の温泉～温泉を利用した健康づくり～ 北海道大学教授 大塚 吉則	9 6
10/ 9	やらなきやゼロ！ 夕張市長 鈴木 直道	9 6
11/12	剥き出しの地球 南極大陸 写真家・ビデオジャーナリスト 阿部 幹雄	8 1
11/28	記録から見る…命の道… (特別講演) ノンフィクション作家 合田 一道	1 0 2
12/16	無伴奏曲からみるフルートの歴史について フルート奏者・講師 安保 奈苗	8 8
1/17	スポーツと健康 北海道大学病院スポーツ医学診療科医師 横田 正司	9 2
2/ 7	家庭の省エネルギー 環境省認定 環境カウンセラー 岡崎 朱実	7 1

(4) 「ほっかいどう学」大学放送講座支援事業

広く道民の学習活動を支援するため、大学放送講座のテキストを作成し、学習活動への活用を図った。

作成部数 600冊

発行 8月

(5) 学習成果実践事業

地域づくりや人づくりを担う実践力を育成するため、道内各地で学習活動をしている道民カレッジボランティアが中心となり、これまでの学んだ成果を活かして講座を企画・立案し実施した。

開催地等	内 容	主 管
函館市 (9/21) 参加数 42	講演「北海道のキノコあれこれ」 函館キノコの会会長 石垣 充一	道民カレッジ 道南圏ボラン ティアの会
帯広市 (9/22)	講演「森林浴をしながら川柳を詠む」 北海道川柳研究会事務局長 三浦 強一 講演「金田式樹木気功法と実技指導」	道民カレッジ ・フレンズ十 勝

参加数 17	十勝樹木気功研究会会長 金田 英男 森林浴 森林セラピスト 佐藤 文彦ほか	
札幌市 (3/28)	講演「道民カレッジへの想い」 北海道大学名誉教授 町井 輝久 パネルディスカッション 北海道大学名誉教授 町井 輝久 称号取得者 榎本 聡子 道央圏道民カレッジ生 林 芳男 道民カレッジ本部 村田 智己 コーディネーター 生涯学習協会 宮内 敏文	生涯学習協会
参加数 66		

(6) 「道民カレッジ」ボランティア（カレッジ・ボラ）活動支援事業

道民カレッジの充実を図るため、道民カレッジボランティアの自主的・自発的活動に対し支援した。

(7) ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業

学習ニーズの多様化、高度化に対応するため、学ぶ意志のある道民のすべてを対象とし、産学官が連携して総合的な学習機会を提供するとともに自立した北海道の創造に寄与する人材の育成を図った。

○ 主催講座

①「ほっかいどう学」大学放送講座

北海道放送（HBC）で7回にわたって本放送を実施するとともに、再放送も実施した。

・レポート数 556通（10月～3月）

回	放送日	テーマ	講師	視聴率	レポート数
1	10/ 5	超高齢化時代の医療と介護	北海道薬科大学	0. 8	
再	10/ 8	～自宅・地域で生活できるように～	教授 古田精一	0. 2	87
2	10/12	北海道外へ発信	札幌大学	1. 6	
再	10/15	～医療観光・六次産業の挑戦～	准教授 武者加苗	0. 9	85
3	10/19	スクリーンの中の北海道	北海学園大学	1. 4	
再	10/22	～映画が描いた北の大地～	教授 大石和久	1. 0	82
4	10/26	増えるドライマウス患者	札幌医療大学	1. 5	
再	10/29	～道産農産物を使った製品開発～	教授 安彦善裕	*	81
5	11/ 21	6人で世界と繋がるどうみん	北海道情報大学	0. 1	
再	1/ 5	～複雑ネットワーク～	教授 古川正志	*	72
6	11/ 9	意外と知らない？アイヌ文化	北海道教育大学	*	
再	11/12	～文化形成に至るまでの理論～	准教授 百瀬 響	0. 4	78
7	11/16	ミニ・パブリックスって何だ？	北海道大学	0. 3	
再	11/19	～私の議論が政治を変える～	准教授 三上直之	0. 4	71

※ 「\*」は0. 1%未満を表す

②「ほっかいどう学」地域活動推進講座

地域の様々な機関との協働を進めるために必要なコミュニケーションスキルの向上を図る学習プログラムにより、地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成することを目的に連続した講座を実施した。

□道央圏

- ・会場 沼田町
- ・対象者 青年層
- ・参加人数 延べ 71人
- ・実施回数 4回

□十勝圏

- ・会場 上士幌町、新得町、鹿追町
- ・対象者 青年層
- ・参加人数 延べ 107人
- ・実施回数 5回

○連携講座

道民カレッジに賛同する道内の市町村、高等教育機関、専修各種学校、各種団体、民間教育事業者等で開催されている講座のうち、前期・後期併せて2,895講座を連携講座に指定した。

○普及啓発情報提供

① 印刷物の作成

- 「道民カレッジ」ポスター (3月 1,500枚)
- 「道民カレッジ」リーフレット (3月 20,000部)
- 「道民カレッジ」ガイドブック (9月・3月 前・後期 各20,000部)
- 「道民カレッジ」たより (9月・3月 各3,500部)
- 「大学放送講座」チラシ (8月 20,000部)

- ② 道民カレッジホームページを活用し広く生涯学習に関する情報等を提供した。  
また、9月からツイッターを活用し、情報発信を行ってきた。

○道民カレッジ学生数及び称号取得者数

- ① 学生数 26,248人 (前年度比 450人増)

- ② 称号取得者数 (実人数 327人)

- ・学士 642人 ・修士 450人 ・博士 357人 合計 1,449人
- ・学長奨励賞 119人 1,000単位 81人 2,000単位 23人
- 3,000単位 7人 4,000単位 4人
- 5,000単位 2人 6,000単位 1人
- 7,000単位 1人

(8) 生涯学習情報資料の展示・提供事業(まなびの広場)

生涯学習に関する図書・資料等の印刷物を展示し、道内市町村・団体の生涯学習への取り組みや成果等を紹介した。

○生涯学習情報資料の展示・提供

生涯学習情報資料コーナーを「まなびの広場」内に設置し、大学や専修学校等で開催する公開講座などのパンフレットを展示し、道民カレッジとリンクした生涯学習情報を提供した。

○インターネットを活用した学習情報の提供

道民カレッジ連携講座の最新情報を当協会のホームページから検索できるよう設定し、学習者のニーズに対応した。

○ふるさとコーナーでの各市町村の広報誌・パンフレットの展示

ふるさとコーナーを「まなびの広場」内に設置し、広報誌や各種パンフレットを展示し道内各市町村の様々な情報提供を行った。

○生涯学習関係団体等の活動紹介及び発表の場の提供

「まなびの広場」の展示スペースを活用し、道内各地で活動している生涯学習関係団体の実践内容を紹介したり作品等を発表する場の提供を行った。

月	団 体 名	展 示 テ ー マ(内容)
4	北海道文化財保護協会	夷酋列像写真パネル展
5	いしかり市民カレッジ	市民カレッジの紹介パネル展
6	北海道立青少年教育施設展運営事務局	各施設のPRパネル展
7	札幌ユネスコ協会	活動状況のパネル、ポスター展
8	大学放送講座実行委員会	参加大学及び講座担当講師の紹介
	北海道趣墨会	韓国帰国水墨画展
9	国立大雪青少年交流の家	施設・事業の紹介パネル展及び活動用具展
10	北海道文化財保護協会	文化財保護活動の紹介パネル展
	絵画サークル たんぼぼ	水彩画展
11	書と絵手紙サークル	書の色紙と絵手紙の展示
12	国立日高少年自然の家	事業紹介及びネイチャークラフト展
1	国立大雪青少年交流の家	施設・事業の紹介パネル展及び活動用具展
2	北海道心の教育推進会議	キャンペーン協力事業や取組の紹介
3	北海道写真集団はまなす	写真展

(9) 視聴覚教材貸出事業

市町村及び関係機関・団体に対し、学習活動に必要な視聴覚教材の貸出を行った。

・貸出件数 225件 ・貸出本数 413本 ・視聴人数 7,625人

(10) 北海道スポーツ推進委員協議会事務局業務の受託

道内のスポーツ推進委員の資質向上と機能の充実を目的としている協議会の事務局業務を行なった。